

【プログラム5:

私の主張と親の主張、どちらも納得するには？ ～SNSの利用を通して～

☆ねらい：SNSは使い方によっては便利でもあり、また、危険性も伴うことを知った上で、どのような使い方が望ましいかを考え、家族の一員として自覚を高める。

《プログラムの概要》

キーワードの例	私の主張と親の主張
時間	30分
人数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	ワークシート（人数分）
主な活動	① SNSの利用状況を知る。 ② 事例をもとに、SNSの利用について考える。 ③ どちらも納得できる方法を考える。 ④ グループで考えたことや感想等を全体に紹介する。
気を付けること	○ SNS等の利用状況には個人差があるので、「誰もがやっていて当たり前」の意識はもたないようにする。 ○ 親子の関係も各家庭で差があるので、「どちらも納得できる方法」は1つに絞らないようにする。複数のアイデアから「自分だったらどれが使えるだろうか」を考えさせる。 ○ 生徒のSNS等の利用に関する実態の個人差は大きいと考えられる。SNS等をあまり利用したことがない生徒、よく利用する生徒のどちらもいることを考慮し、グループ分けをする必要がある。 ○ SNS等を利用することが良い、悪いということではなく、親も子もどちらも納得できる安心安全な使い方を考えることに重点を置く。
備考	○ どの学年においても活用できる。しかし、まだSNS等をほとんど知らないと思われる中学生に本プログラムを行う場合は、次頁の講座の流れの「活動の2」は、省略したり、名前を知っているかどうかを聞いたりするなどの工夫をするとよい。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】内容（2）アウクケ 【中学校 学級活動《現》】内容（2）アウオキ 【中学校 学級活動《新》】内容（2）アウエ